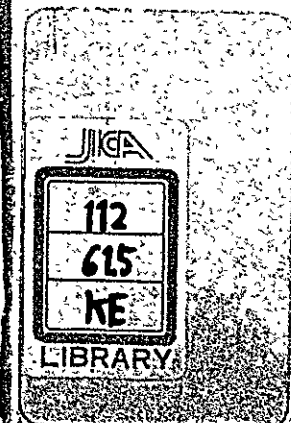


ノンカイ・ヴィエンチャン橋梁
調査の実施方法について

1967年7月

海外技術協力事業団
開発調査部



国際協力事業団	
受入 月日 84.3.22	712
登録No. 01199	61.5
	KE

PE 210
7.2
K

ノンカイ・ヴィエンチャン橋梁調査の実施方法について

1. この調査に含まれる業務は、次のとおり分担して実施する。

(1) 学識経験者よりなる顧問団を編成し、調査実施、計画立案、報告書審査等に関する助言を求める。

(2) コンサルティング エンジニア グループによる作業および技能的作業は、日本工営KKに依頼する。

コンサルティング エンジニア グループによる作業には、経済的技術的調査の実施、建設計画の立案、報告書の作成等が含まれる。

技能的作業には、測量、地質調査、電子計算機によるデータ整理、収集資料および報告書の翻訳等が含まれる。

事業団と日本工営KKとの間の契約手続としては、まず、包括契約を結んで、日本工営KKの準備を整えさせ、その後、具体的作業の着手前に、事業団と日本工営KKが協議して、作業計画を定めるものとする。その際、事業団は顧問団の助言を求める。

作業計画には、コンサルティング エンジニアの名簿および作業工程表、ならびに技能的作業の仕様書および経費内訳書等を含む。

(3) 上記の業務に附帯する一般事務は、事業団が直接実施する。

2. 調査業務に要する費用は、次のとおり支払う。

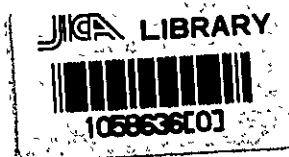
(1) 日本工営KKに依頼する業務に要する費用は、次のとおり支払う。

i) コンサルティング エンジニアの作業に対しては、実働月に応じて、直接人件費、諸経費および技術報酬を、日本工営KKに支払う。

ii) 技能的作業に対しては、作業量に応じて、直接費および間接費を、日本工営KKに支払う。直接費は、作業計画に定める協定単価と作業量を用いて算出し、間接費は、原則として、作業計画に定める額とするが、作業量が20%以上増減した場合には、別途協議して定める。

iii) 上記以外の経費（外国旅費、資機材購送費、現地調査費）は、事業団が直接経理する。

(2) 顧問団に依頼する業務に要する費用および事業団が実施する附帯事務に



要する費用は事業団が、直接経理する。

参 考

日本工営KKに支払い費用を実施計画書費目別に区分すると、次のようになる。

費 目	日本工営KK支払い分		全予算額
	内 容	予 算 額	
外国旅費	-	0	13,097,660
現地調査費	測量および地質調査	14,583,160	19,360,840
資機材購送費	-	0	889,500
コンサルタント経費	直接人件費・諸経費・技術報酬	10,802,400	11,030,400
	電子計算機使用料	228,000	
報告書作成費	資料翻訳・航空写真モザイク	480,000	757,600
	報告書翻訳	110,000	
合 計		26,203,560	45,136,000

昭和42年度 外務省所管投資前基礎調査委託費
(アジア道路建設計画調査委託費)

ノンカイ/ヴィエンチャン間架橋計画調査実施計画書

昭和42年7月

海外技術協力事業団

I 計 画 の 概 要

目 的 :

この計画調査は、メコン河本流に道路、鉄道併用橋を建設して、アジアハイウェイ12号線のノンカイ(タイ側)とヴィエンチャン(ラオス側)間を連繋し、あわせてバンコク、ノンカイ間の既設鉄道をヴィエンチャンまで延長する計画について、その建設への可能性を検討し、フィジビリティレポートを作成しようとするものである。

経 緯 :

この計画は、1965年8月ヴィエンチャンで開催されたメコン河下流域調査調整委員会(以下委員会という)第29回会議で発表された総合開発10カ年計画の中で優先計画としてラオス政府から示されたものである。

他方エカフェ提唱のもとで推進されているアジアハイウェイ計画において、この計画が含まれるバンコク-ヴィエンチャン間(A-12号線)は、優先的に完結すべきルートとして示されたものである。

1966年5月、ヴィエンチャンで開催された第3回舟航セミナーにおいて、コンサルタント会社から、この架橋計画予定地点の踏査結果について説明が行われた。そして委員会は、1967年2月同地で開催された委員会第31回会議で、この架橋計画のフィジビリティ調査を優先的に進めることとし、友好諸国の援助を期待したものである。

この要請に応じて、1967年4月、東京で開催された委員会第32回会議において、日本政府は、この架橋計画についてのフィジビリティ調査を実施する用意がある旨を発言し、委員会ラオス、タイ両代表は、この申し出を受諾したのである。

この計画が実現すれば、アジアハイウェイ網の中で最も早期に貫通する路線となり、このことはラオス、タイ両国の交流を深め、特にラオス王国の経済、社会の開発に役立つものと考えられる。

Ⅱ 調査の概要

わが国政府は、前述の経緯から、この計画調査を実施することとし、この実務を海外技術協力事業団に委託するものである。

調査作業については、現地事情に詳しく、この種の調査に経験のあるコンサルタント会社と契約のうえ実施することとする。

調査内容：

調査は4次に分けて実施することとし、その内容は次の通りである。

第1次調査(現地調査)

1. 路線選定と架橋予定地点の測量および地質概査
2. 資料収集と計画立案に必要な経済関係調査
(国内作業)
3. 既存資料、調査成果に基づいて、メコン委員会が路線を決定するに必要な事項を記載した報告書の作成

第2次調査(現地調査) — 第1次調査の結果、決定された路線について —

1. 詳細な地質、測量、水文等技術的調査
2. 交通経済に関する詳細調査ならびに用地調査
(国内作業)
3. 橋梁、道路、鉄道の予備設計、工事費の積算
4. 経済的、社会的便益の算定
5. メコン委員会での検討用報告書作成

第3次調査(国内作業) — 第2次調査報告書に対するメコン委員会の意向が決定したのちに —

第1次、第2次調査成果を要約して、橋梁の管理方式、資金計画等を含めた投資借款申請書として、金融機関に受入れられる様式で報告書(フィジビリティレポート)案を作成。

第4次調査(国内作業) — 第3次調査報告書に対するメコン委員会の意向が定まったのちに —

最終報告書の作成

本年度内作業

前記調査のうち、本年度は第1次調査ならびに第2次調査のうち現地調査までを実施することとする。その経費は次項の通りである。

Ⅲ 調査経費の内訳

費 目	第1次調査	第2次調査	合 計
外 国 旅 費	7,470,660	5,627,000	13,097,660
現 地 調 査 費	3,563,510	15,797,330	19,360,840
資機材購入・運搬費	422,500	467,000	889,500
コンサルタント経費	7,453,440	3,576,960	11,030,400
報告書作成費	757,600	—	757,600
計	19,667,710	25,468,290	45,136,000

N-1 現地調査人員計画表

業 務	格 付	昭和42年度									昭和43年度									備 考	
		8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1		2
団 長	特級																				
技 術 総 括	特級																				
経 済 総 括	特級																				
地 質	1 級			0.7	(1.2)																
土木(土 木 一 般)	2 級			1.0	(1.5)																
(橋 梁 一 般)	1 級			0.5	(1.0)																
(鉄 道 一 般)	2 級			0.7	(2.2)																
(道 路 測 量)	4 級			1.5	(4.0)																
(橋梁下部・地質・水文)	3 級			1.0	(4.5)																
経済(地 域 計 画)	1 級			2.0	(3.5)																
(輸 送 計 画)	3 級			2.0	(3.5)																
(経 済 効 果)	4 級			2.0	(3.5)																
渉 外 ・ 会 計	4 級																				
地 質 調 査																					
測 量 調 査																					
(国内設計作業……内訳別紙)																					

前期コンサルタント人月表

調査	格付	特級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
第 1 次			3.2	1.7	3.0	3.5			11.4
第 2 次			2.5	2.0	5.0	4.0			13.5
計			5.7	3.7	8.0	7.5			24.9

後期コンサルタント人月表

調査	格付	特級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
第 3 次				1.0	0.5				1.5
第 4 次				1.0	0.5				1.5
計				2.0	1.0				3.0

N-2 国内設計作業人員計画

業 務	格 付	昭和42年度									昭和43年度									備 考			
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		1	2	3
主任技術者	1級		1.0								0.5						(1.0)		0.5				
土木(道路一般)	2級		1.0								1.0						(1.5)		0.5				
地質	1級		0.5								1.0						(1.5)		0.5				
経済(経済総括)											2.5						(3.5)		1.0				
"(地域計画)	1級		2.0								4.0						(5.0)		1.0				
"(輸送計画)	3級		2.0								4.0						(6.0)		2.0				
"(経済効果)	4級		2.0								3.0						(5.0)		2.0				
土木(橋梁一般)	3級		1.5								4.5						(7.5)						
"(橋梁下部)	4級		1.5								3.0						(4.5)		1.5				
"(橋梁上部)	4級		0.5								2.0						(3.0)		1.0				
"(設計計算)	5級		1.0								2.5						(4.0)		1.5				
"(" ")	6級		0.5								3.0						(4.0)		1.0				
"(積算・見積)	6級		1.0								2.5						(4.5)		2.0				
"(設計・製図)	6級		1.0								3.0						(5.0)		2.0				
顧問	特級		0.5								0.5						(0.1)		0.5				

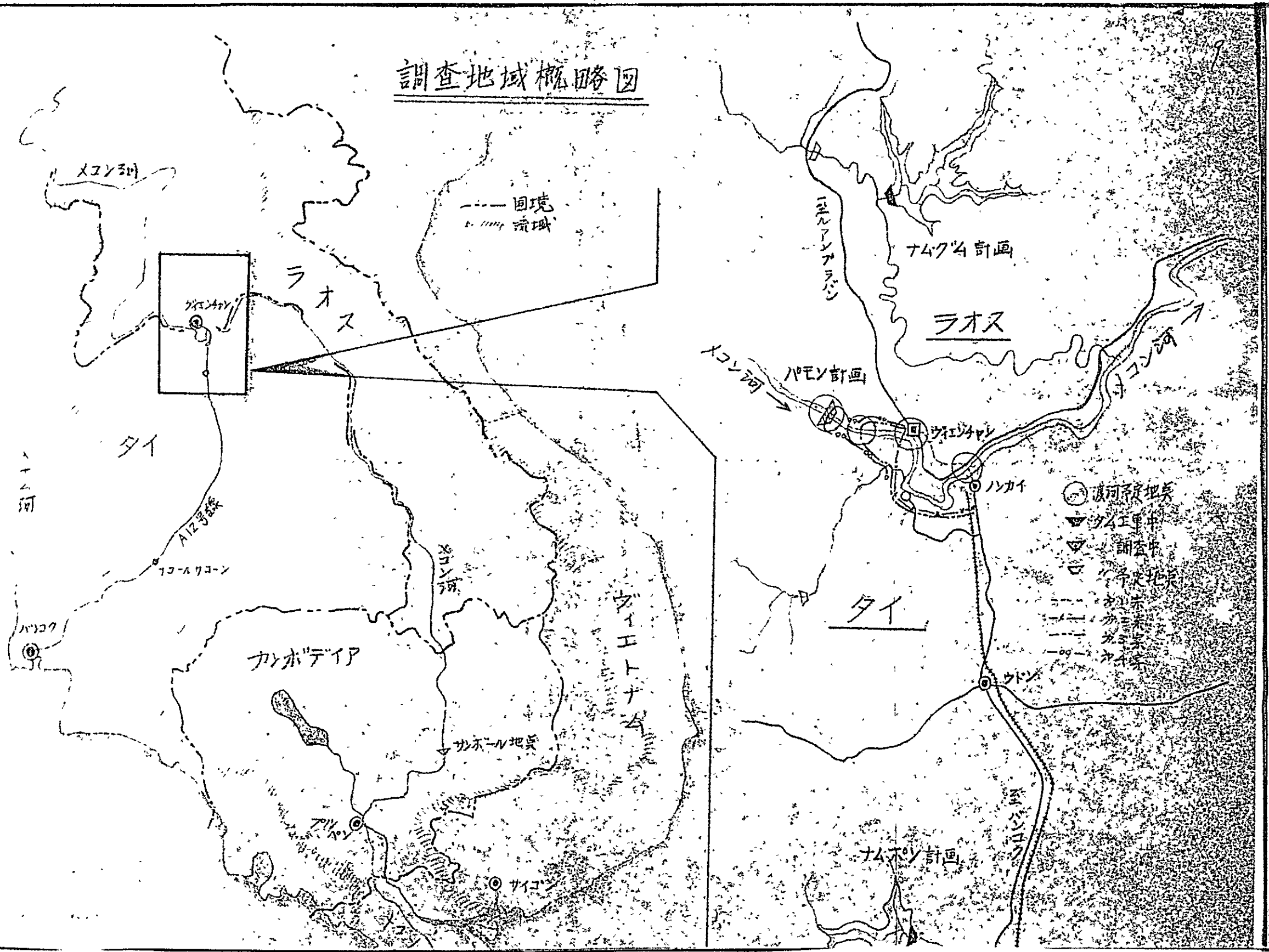
前期コンサルタント人月表

調査	格付	特級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
第1次		0.5	3.5	1.	3.5	4.0	1.0	2.5	16.0
計		0.5	3.5	1.	3.5	4.0	1.0	2.5	16.0

後期コンサルタント人月表

調査	格付	特級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
第2次		0.5	1.5	3.5	8.5	9.0	5.5	8.5	37.0
第3.4次		0.5	1.0	1.5	4.0	4.5	3.5	5.0	20.0
計		1.0	2.5	5.0	12.5	13.5	9.0	13.5	57.0

調査地域概略図



大圖

工半量 仕材の量

印 — 材概略の量に於ける